

朝礼 校長講話（4月16日）

入学式・始業式から10日ほどが経ちました。どうですか、少しは落ち着いたでしょうか。先週あたりから少しずつ授業も始まってきて、“日常”になりつつあります。1年生の皆さんにとっては、教科によって先生が変わる、いかにも中学校という感じを体験しているのではないのでしょうか。そんな授業で、教科担任の先生から、「これから、こうやって授業を進めていきます」「成績はテストだけではなく、こういうところも大切に見ていきます」というガイダンスを受けていましたね。もちろんどれもとても大切なことですが、そのすべてを頭に入れ、ちゃんとやろうとしてもそれは無理です。

今年も初めて先生として授業を行う先生が何人かいますが、今日は、先生が初めて先生になった時の話をしようと思います。

それは今の1年生と同じ状態でした。毎日が初めてのことだらけで、気持ちばかりが焦って、「あれもしなきゃ」「あ、これがやっていない」と頭の中がパニックになっていました。そんな日が数日続いた時、思ったんです、「無理だ」と。何年も先生をやっている人と同じように授業ができるわけがない、ということに気づきました。でも、だからといって『できない』から『やらない』では目の前にいる子どもたちに申し訳ないので、考え方を変えたんです。「自分にできることを、まずやろう」と。そして、何が先輩の先生たちと同じようにできるかを考えた時に出した答えが、「大きな声」でした。「おはよう」と大きな声であいさつをしたり、「お、がんばってるね」と元気よく声をかけたりすることなら、経験のない自分でもできると思って、それをまず実行しました。そして、それをスタートに、少しずつ少しずつできることを増やしていきました。

1年生の皆さんも、今すぐにすべてをきちんとやろうとすると、それはとても苦しいので、まずできるところから確実に取り組んでいてみてはどうでしょうか。忘れ物をしない、授業が始まる前には席に着く、これなんかは小学校の時からやってきていることですからできますよね。そして、それを基礎にさまざまなことを身につけていくといいと思います。

2年生、3年生の皆さん、そんな1年生が、明日からいよいよ体験入部でそれぞれの部活動へ参加します。用具を大切にすること、使う場所をきちんと整備すること、大きな声であいさつをすることなど、ぜひ、1年生にそんな姿を見せてください。